

## 審判員が特に注意すること

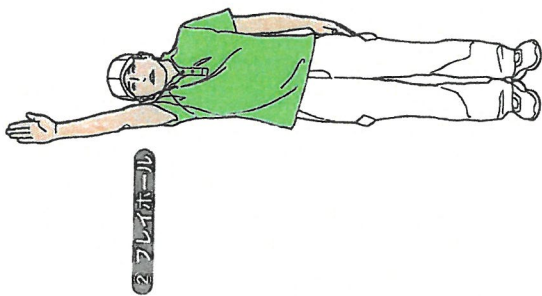
1. 審判員は、競技場境界線（ボールデッドライン）内に、グラブ・ボール・バット等が放置されていたり、人がいる状態では、プレイさせてはならない。
2. 審判員は、競技場またはその周辺にいる人々が、ボールから目を離さないように絶えず注意し、危険防止を徹底する。いわば、安全管理の責任者でもある。

## 審判員の基本動作（サイン）

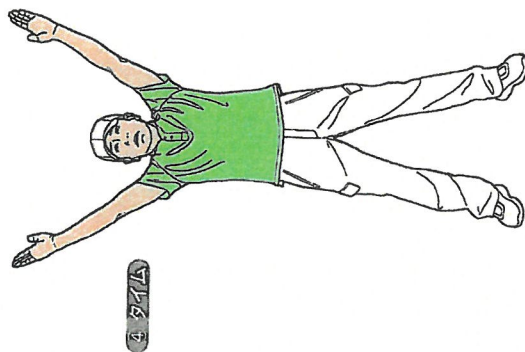
1. 集合準備・集合：球審は、試合開始に先立ち、両チームをベンチ前に整列させ、「集合準備」「集合！」のコールで、本塁プレートをはさんで整列させる。整列後は、球審の「双方、礼!」「お互いに、礼!」などの合図で、脱帽し、相手チームの選手に、「お願いします」と挨拶する。その後、身体を審判員に向けて一礼することが望ましい。
2. プレイボール：球審は、試合開始時には、右手を高く挙げて、手の平を前に向けて開き、「プレイボール」とコールする。
3. プレイ：球審は、「タイム」の後、打者が打席に入った時など、試合を進行させてもよい状態を確認した上でコールする。右打者の場合は、右手を前に伸ばしながら、左打者の場合は、左手を前に伸ばしながら、「プレイ」とコールする。
4. タイム：球審・塁審は、試合を停止しなければならない時、速やかに両手を開いて高く上げ、「タイム」とコールする。この「タイム」のコールは、球審・塁審の連動動作である。上げた手を下ろすときは両者が一緒に下ろす。
5. ストライク：球審は、ボールが落下した時点で、右手を頭上に上げて、「ストライク」とコールし、腕を90度に曲げる。なお、球審は、捕手の横でストライクゾーンの高低を確認し、ボールの落下地点で左右のコースを確認することが望ましい。
6. ボール：球審は、構えの姿勢をくずさずに「ボール」とコールする。
7. ボールカウントの表示：球審は、両手を頭上に上げて、左手で「ボール」、右手で「ストライク」の数を示す。
8. ファウル（ボール）：球審・塁審は、ボールとファウルライン（ライン・ラインの上方空間はフェア地域）の位置関係で素早く判定する。ボールをよく見続けて、両手を開いて高く上げ、「ファウルボール」とコールする。なお、「ファウルボール」は、野手がボールに触れた瞬間またはボールが止まった時点で、素早くコールすること。
9. フェア：球審・塁審は、フェアボールかファウルボールかきわどい時、腕をフェア地域に真横に伸ばしながら、「フェア」とコールする。
10. アウト：球審・塁審は、左手は身体の前で軽く握り、右手を頭上に上げて、腕を90度に曲げながら、「アウト」とコールする。
11. セーフ：球審・塁審は、両手を水平に伸ばしながら、「セーフ」とコールする。なお、アウト・セーフの裁定で大切なことは、その当該プレイを、(1) 見やすいところまで素早く動く、(2) 安定した姿勢で止まる、(3) プレイを見続けたままでしっかりコールすることである。
12. 試合終了（ゲームセット）：両チーム整列の後、右手を高く上げて、「ゲーム」とコールする。試合開始時の挨拶と同様に行う。

# 審判員の基本的なジェスチャー

5



右打者の場合は  
右手を、左打者の  
場合は左手を  
前に伸ばす



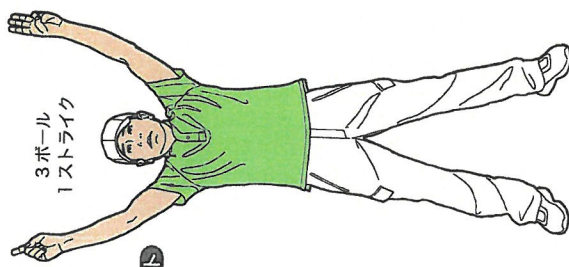
# RULE 9

## ⑥ ボール

球審は、構えの姿勢をくずさずに「ボール」とコールする。

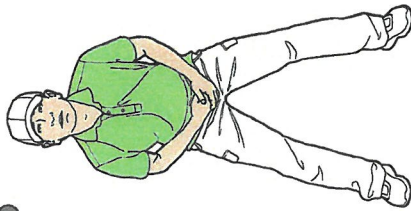
## ⑦ ボールカウントの表示

球審は、両手を頭上上げて、左手で「ボール」、右手で「ストライク」の数を示す。

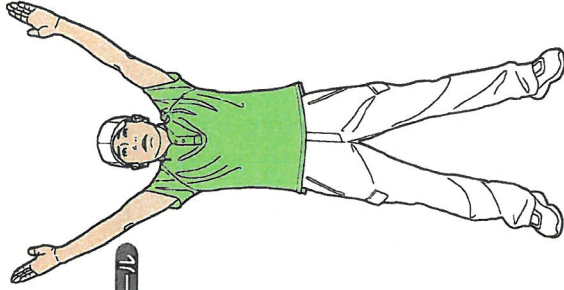


3ボール  
1ストライク

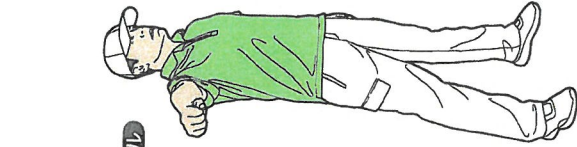
⑦ ボールカウント



⑥ ボール



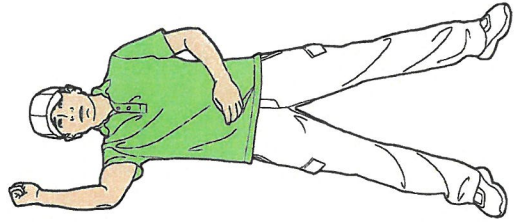
⑧ ファウルボール



⑨ フェアボール

## ⑩ アウト

球審・塁審は、左手は身体の前で軽く握り、右手を頭上に上げて、腕を90度に曲げながら、「アウト」とコールする。



⑩ アウト

## ⑧ ファウルボール

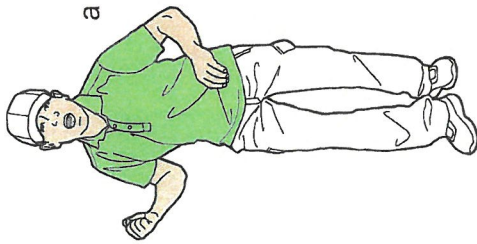
球審・塁審は、ボールとフェアウールライン(ライン上・ラインの上方空間はフェア地域)の位置関係で素早く裁定する。ボールをよく見続けて、両手を開いて高く上げ、「ファウルボール」とコールする。なお、「ファウルボール」は、野手がボールに触れた瞬間またはボールが止まった時点で、素早くコールすること。

## ⑨ フェアボール

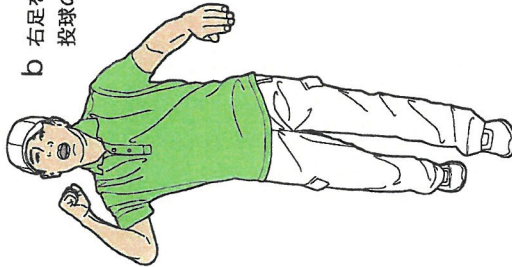
球審・塁審は、フェアボールかファウルボールかわかどい時、腕をフェア地域に真横に伸ばしながら、「フェア」とコールする。

※フェアボールとファウルボールに関してはP.24・P.25を参照してください。

きわどいアウトの一例



a プレイヤーの方へ左足を踏み出す



b 右足を引き寄せながら、  
投球のように右手を上げる



c 手を握って、左足を踏み出しながら  
「アウト！」のコール

⑪ セーフ

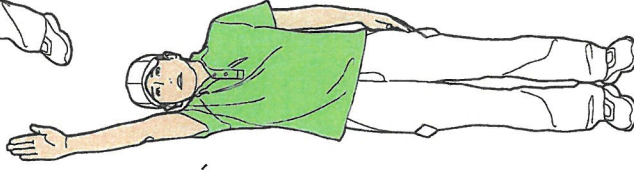
球審・塁審は、両手を水平に伸ばしながら、「セーフ」とコールする。  
なお、アウト・セーフの裁定で大切なことは、その当該プレイを、  
(1)見やすいところまで素早く動く、(2)安定した姿勢で止まる、(3)プレイ  
を見続けたままですっかりコールすることである。

⑪ セーフ



⑫ 試合終了(ゲームセット)

両チームの整列後、右手を高く上げて、  
「ゲーム」とコールする。  
試合開始時の挨拶と同様に行う。



⑫ 試合終了

審判員・プレイヤーは共に  
帽子をとって挨拶する